

（第3時限：A方式受験者80分  
：4教科型受験者2科目で140分）

2004年度 ⑥

〈A方式・4教科型（文系）〉

選 択 科 目 （全45ページ）

	ページ
政治経済・現代社会 .....	1～12
日 本 史 .....	13～24
世 界 史 .....	25～32
地 理 .....	33～42
数 学 .....	43～45

注 意 事 項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
2. 選択する科目について、以下の点に注意しなさい。

① A方式の受験者は上記の科目から1科目選択しなさい。ただし、文学部については○印のついている専攻のみ数学を選択できます。×印のついている専攻は数学を選択できません。

志 望 専 攻	選択可否
哲学専攻	×
教育人間学専攻	×
日本文学専攻	○
中国文学専攻	×
英米文学専攻	×
日本史学専攻	×
東洋史学専攻	×
西洋史学専攻	×
地理学専攻	○
心理学専攻	○
人文総合科学インスティテュート総合プログラム	×
人文総合科学インスティテュート国際プログラム	×
人文総合科学インスティテュート学際プログラム	×

② 4教科型受験者は上記の科目から以下のとおり2科目を選択しなさい。

受 験 学 部	科目選択について
法学部（国際インスティテュートを含む）	上記科目から2科目選択 ただし数学は必須
産業社会学部	
政策科学部	
経済学部（文理総合インスティテュートを含む）	
経営学部（文理総合インスティテュートを含む）	
アジア太平洋マネジメント学部	
アジア太平洋学部	
文学部 日本史学専攻・人文総合科学インスティテュート総合プログラム	上記科目より2科目選択

3. 解答はすべて別紙の解答用紙に記入しなさい。
4. 解答に字数制限がある場合には、句読点のために1字分とらないようにしなさい。

例 

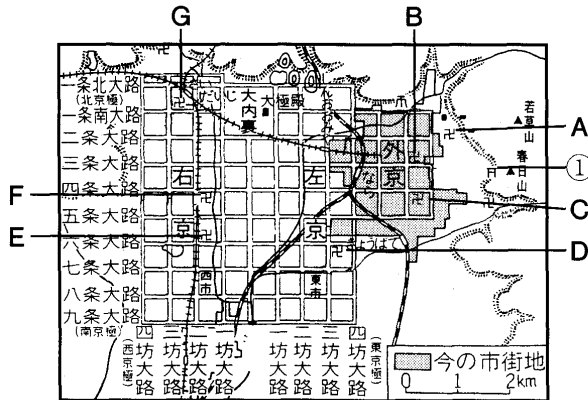
で	あ	る	。	し	か	し	、	そ	れ	は
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

5. 政治経済・現代社会のⅢ－1、Ⅲ－2は選択問題です。いずれか1問を選択し、解答しなさい（2問とも解答した場合は0点）。
6. 試験終了後、問題冊子は持ち帰りなさい。

# 日本史

I 次の図〔1〕～〔3〕を見て、下の問いに答えよ。

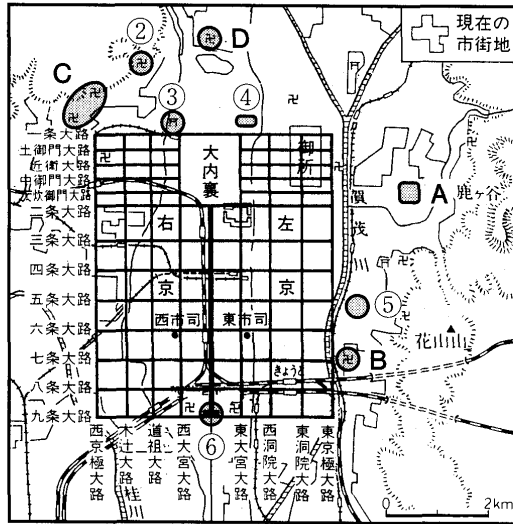
図〔1〕



〔1〕 図〔1〕について、次の(a)～(d)の問いに答えよ。

- (a) 図中のA～Gの寺院のうち、7世紀前半の舒明天皇の時代に建立された官寺の流れに連なる寺院の一つを選び、記号で答えよ。
- (b) 図中の大内裏の中央からまっすぐ南に延びる道路を何と呼ぶか。
- (c) 図中に見える「東市」「西市」の奈良時代の状況について述べた文章として、**適当でないもの**を、次の㉠～㉡から一つ選び、記号で答えよ。
- ㉠ 両市ともに、平城京の市政を司る京職の管轄下に置かれた。
  - ㉡ 諸国から送られてくる調や庸などは、この市で必要な物資と交易された。
  - ㉢ 両市では、罪を犯したものに対する刑罰が公開されることがあった。
  - ㉣ 市の商人から徴収される営業税は、政府の重要な財源となった。
- (d) 鎌倉時代に、図中の①の神社に祀られた神の靈験を絵巻物に描いた画家はだれか。

図〔2〕

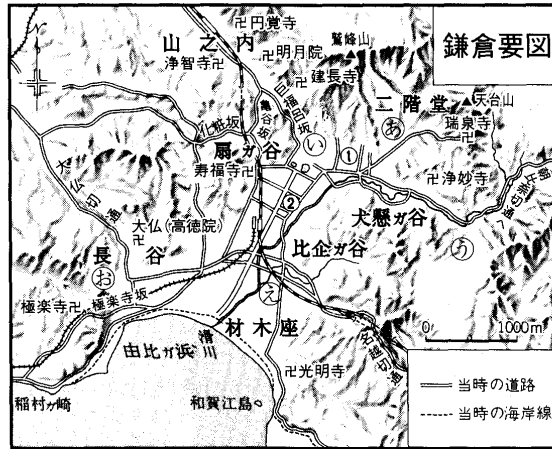


〔2〕 図〔2〕について、次の(e)～(j)の問いに答えよ。

- (e) 図中の②の寺院は、もとある武士の山荘を、その没後に禅寺に改めたものであるが、この武士とはだれか。
- (f) 図中の③の地に関して述べた文章として、**適当でないもの**を、次の㉠～㉥から一つ選び、記号で答えよ。
- ㉠ 大宰府で死去した菅原道真の霊を鎮めるため、この地に北野神社が建てられ、御霊会が行われた。
  - ㉡ 北野神社に所蔵される、神社の創建の由来を描いた絵巻物は、平安中期を代表する美術作品である。
  - ㉢ 室町時代には、北野神社は西京で醸造される酒麴の座の本所として収入を得た。
  - ㉣ 豊臣秀吉は、バテレン追放令を発した年に、千利休や津田宗及に命じてこの地で大茶会を開催した。
- (g) 今日に伝わる図中の④の地名は、15世紀後半に勃発した応仁の乱に由来する。この地に本陣を置いた西軍の中心的な武将はだれか。
- (h) 図中の⑤の地に置かれた、朝廷の監視などを任務とする鎌倉幕府の機関を何というか。
- (i) 『今昔物語集』を素材として、図中の⑥の施設を舞台とする小説を大正期に発表した作家はだれか。

- (j) 院政期に白河法皇の法勝寺をはじめとして、六勝寺と総称される皇室ゆかりの寺院が建立された地として、もっとも適当なものを、図中のA～Dから一つ選び、記号で答えよ。

図〔3〕



〔3〕 図〔3〕について、次の(k)～(o)の問いに答えよ。

- (k) 源頼朝が入部する以前における鎌倉と源氏との結びつきを示す史跡としては、1063年に京都近郊の石清水八幡宮を勧請したと伝えられる元八幡宮がある。その所在地として、もっとも適当なものを、地図上の記号㉞～㉟から一つ選び、記号で答えよ。
- (l) 鎌倉の都市プランは平安京をモデルにしたといわれる。平安京の中央を南北に縦貫する道路に相当する鎌倉の道路を何と称するか。
- (m) 地図上の番号①②は、将軍御所（幕府ともいう）の所在地を表す。①から②への移転の目的は、幕府政治の創業者源頼朝の巨大な影を掃い、執権政治の刷新を内外に明示するところにあった。そのときの執権の氏名を記せ。
- (n) 執権北条氏一門によって建立された寺々は、かつて源氏一族が創建した寺社のはるか外周に分布し、鎌倉の都市としての発展は、こうした面からも見て取れる。地図上に記す「円覚寺」の開基はだれか。
- (o) 鎌倉時代、鎌倉では都市の発展とともに商業も繁栄した。そのことを示す地名が今も残っているが、その地名として、もっとも適当なものを、地図上から求めて記せ。

Ⅱ 次の文章〔1〕～〔3〕を読んで、空欄  ～  にもっとも適当な語句・人名などを記入し、かつ下線部に関する(a)(b)の問いに答えよ。

〔1〕 磁器を英語で「チャイナ」とも呼ぶことでわかるように、中国は磁器の輸出大国であった。15世紀までは青磁と白磁が中心であったが、16世紀になると染付が磁器の主流になり、江西省の景德鎮の染付が大量に流通するようになった。日本はもとより、東南アジアへも広く輸出されていたが、大航海時代と呼ばれるヨーロッパとアジアとの貿易が盛んになる中で、ポルトガルが景德鎮の磁器をヨーロッパへ運びはじめる。こうした染付を中心にした磁器の需要増大で、福建・広東地方の古くからの窯業地でも染付を生産しはじめ、大量に輸出されるようになった。

豊臣秀吉による南蛮貿易は軍事力を背景とした強圧的なものだったが、徳川幕府による  貿易は平和的な貿易振興政策であり、活発な交易活動が行われた。その間ポルトガルやスペインは力を失っていった。その一方、1600年には  が、1602年にはスペインから独立した  が、それぞれ東インド会社を設立し、急速に東アジアに進出してきた。 は、1619年には  に打ち勝ってジャカルタに東インド会社の本部を設置して、東アジア市場における貿易の優位を確立した。

17世紀の中頃、中国では  から  へと王朝交替に伴う内乱のため、磁器がほとんど輸出されなくなった。 王朝の遺臣たちが王朝再興のため、南へと逃れながら抵抗を続けた結果、中国の主要な磁器生産地が疲弊してしまったのである。また、海上に逃れてなお抵抗する遺臣らのため、 朝はいわゆる海禁令を出し、私的に出海することと、 の遺臣らと貿易することを禁じた。そのため、中国の磁器輸出はほとんど止まってしまった。

中国磁器が不足しはじめたため、日本では肥前磁器の国内需要が高まった。また、 も、東南アジアやヨーロッパ向けの磁器を日本に求めた。1640年代から1650年代にかけて、肥前の磁器窯では著しい技術革新や窯場の整理統合が行われたことが発掘調査や文献史料から分かっている。これは、まさしく、中国の動乱に呼応したかのような変化・発展であり、中国から陶工が流出した

可能性も指摘されている。このような国際状況の変化に応じて、肥前地方の磁器窯は日本国内はもとより東南アジアやヨーロッパの国々にも磁器を輸出し、大きな発展を遂げたのである。日本最初の色絵磁器といわれる柿右衛門の赤絵<sup>㉑</sup>は、こうした輸出向けに作られた西洋人好みの色絵だともいわれている。しかし、17世紀末に中国磁器の輸出が再開されると、日本国内を除く磁器市場は瞬時に安価な中国磁器に奪回された。

(a) 下線部㉑の作品として、もっとも適当なものを、19ページの写真㉒～㉔から一つ選び、記号で答えよ。

[2] 1615年の  の陣をもって、いわゆる元和偃武となる。八条宮智仁親王が所領に山荘、 を開き、 が都の北西の鷹ヶ峰に「芸術家」村を開くのもこのころであり、文化・芸術の新しい幕開けの時でもあった。

については、「庭中、山を築き池を穿つ。池中、船あり。橋あり。亭あり。亭上、四面の上を見る。天下の絶景なり」(『鹿苑日録』)と述べられている。この山荘の普請は、『源氏物語』など王朝の詩情の再現を目指して、親王自身の指図でなされたものであった。

また、17世紀の中葉過ぎに後水尾院によって営まれた  は、比叡山を借景として営まれた雄大な山荘であり、上・下の御茶屋がおかれた。のちに、中御茶屋も加えられた。このような山荘に建築された建物は、茶室を  と呼んだところから  造と呼ばれる。

[3] 京都で扇屋を営んでいた  は、風神雷神図屏風の作者として有名であるが、その画法や  の芸術に学んだ、呉服屋の次男  が琳派と呼ばれる様式を発展させた。 の代表作には燕子花図屏風<sup>㉕</sup>などがあるが、弟である  の陶器に絵つけをした兄弟合作の陶器も有名である。この様式は、のちに江戸の酒井抱一らに継承されるが、早くから小袖のデザインなどとして広く工芸の世界に流布しており、現在でも強い影響力をもっている。

(b) 下線部㉕以外の  の代表作として、もっとも適当なものを、20ページの写真㉖～㉘から一つ選び、記号で答えよ。



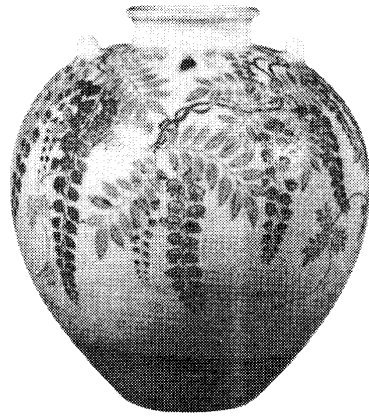
ア



イ



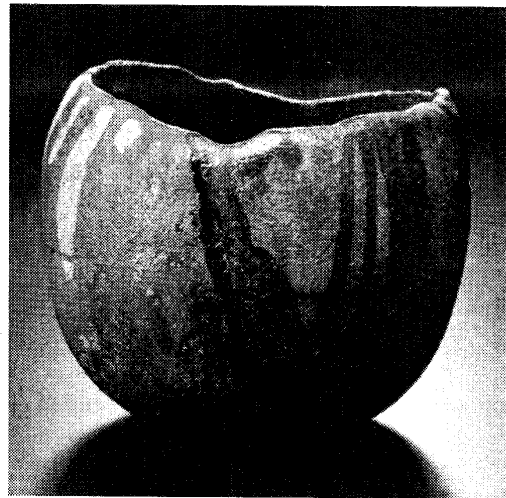
ウ



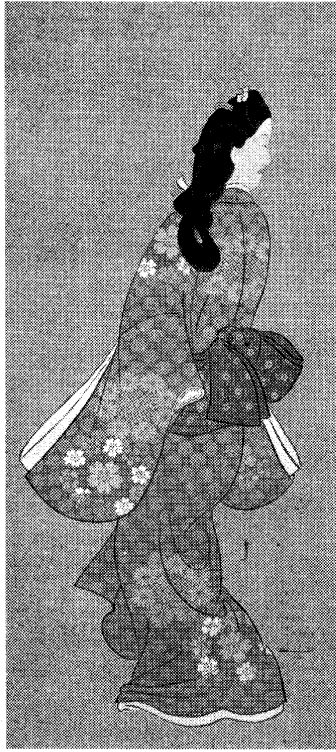
エ



オ



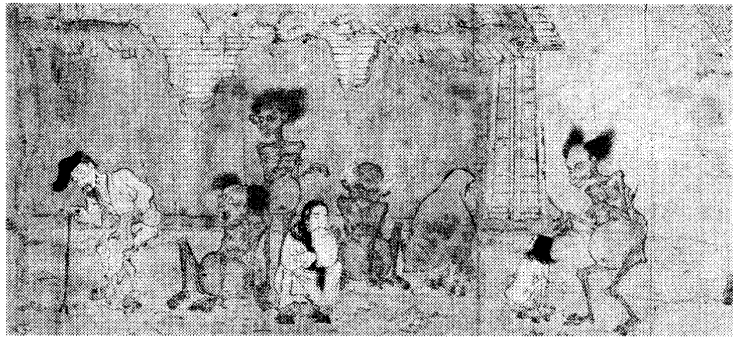
カ



㊦



㊧



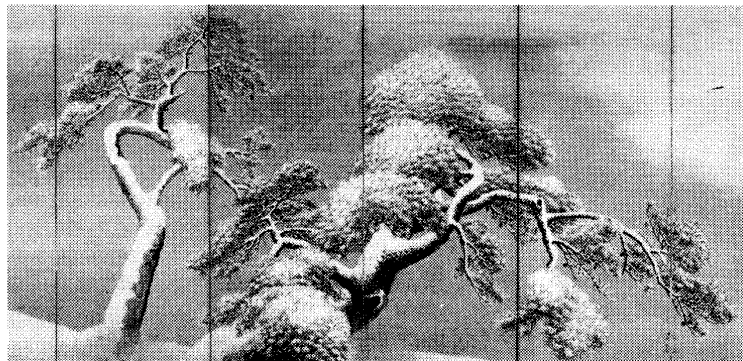
㊨



㊩



㊪



㊫



Ⅲ 次の〔1〕～〔5〕の史料を読んで、空欄 **A** ～ **I** にもっとも適当な語句を記入し、かつ(a)～(k)の問いに答えよ。なお、史料は仮名づかいなどを一部読みやすく改めたところがある。

〔1〕 市制・町村制

現今ノ制ハ府県ノ下 **A** 区町村アリ、区町村ハ稍自治ノ体ヲ存スト雖モ未ダ完全ナル自治ノ制アルヲ見ズ、**A** ノ如キハ全ク行政ノ区画タルニ過ギズ、府県ハ素ト行政ノ区画ニシテ、幾分カ自治ノ制ヲ兼ネ有セルガ如シト雖モ、是亦全ク自治ノ制アリト謂フ可カラズ、… (『法令全書』)

〔2〕 大日本帝国憲法

第一章 天皇

第一条 大日本帝国ハ万世一系ノ天皇之ヲ **B** ス

第四条 天皇ハ国ノ元首ニシテ **B** 権ヲ総攬シ此ノ憲法ノ条規ニ依リ之ヲ行フ

第五条 天皇ハ帝国議会ノ **C** ヲ以テ立法権ヲ行フ

第八条 天皇ハ公共ノ安全ヲ保持シ又ハ其ノ災厄ヲ避クル為緊急ノ必要ニ由リ帝国議会閉会ノ場合ニ於テ法律ニ代ルベキ **D** ヲ発ス…

第一一条 天皇ハ陸海軍ヲ統帥ス

第三章 帝国議会

第三四条 貴族院ハ貴族院令ノ定ムル所ニ依リ皇族 **E** 及勅任セラレタル議員ヲ以テ組織ス

第四章 国务大臣及枢密顧問

第五五条 国务各大臣ハ天皇ヲ **F** シ其ノ責ニ任ズ (『法令全書』)

〔3〕 明治民法

第七三二条 **G** ノ親族ニシテ其家ニ在ル者及ビ其配偶者ハ之ヲ家族トス

第七四九条 家族ハ **G** ノ意ニ反シテ其居所ヲ定ムルコトヲ得ズ

第七五〇条 家族ガ婚姻又ハ養子縁組ヲ為スニハ **G** ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス…

第九八六条 **H** 相続人ハ相続開始ノ時ヨリ前 **G** ノ有セシ権利義

[4] 金本位実施ノ必要モハヤ疑ヲ容レズ。依テ爾來專ラ金吸収ノ方策ヲ求メタリ。

<sup>あたか</sup>⑥ 恰モ好シ  条約ニ依リ清国ハ償金貳億兩ヲ支払フコトヲ約セリ。然ルニ清国ハ償金支払ノ為メ公債ヲ欧州ニ於テ募集スルノ必要アルヲ以テ、彼我ノ便益ヲ計リ償金ハ英京ニ於テ金貨ヲ以テ受取ルコトニ追約セリ。…金本位ノ実施ハ欧米諸国貨幣市場ノ中心ト我国市場トヲ連絡セシメ、相互ノ間氣脈ヲ通ズルノ便ヲ開キ貿易ノ發達期シテ俟ツベキナリ。

(『日本金融史資料』明治・大正編)

[5] 現内閣ハ一銀行一商店ノ救済ニ熱心ナルモ、支那方面ノ我が居留民及対支貿易

<sup>はぼか</sup>⑦ <sup>あ</sup>④ 易ニ付テハ何等施ス所ナク、唯々我等ノ耳ニ達スルモノハ、其ノ慘憺タル暴状ト、而シテ政府ガ弾圧手段ヲ用ヒテ、之等ノ報道ヲ新聞紙ニ掲載スルコトヲ禁止シタルコトナリ。之ヲ要スルニ、今日ノ恐慌ハ現内閣ノ内外ニ対スル失政ノ結果ナリト云フヲ憚ラズ。

(『伯爵伊東巳代治』)

(a) 1878年の法律で行政区画として認められた  <sup>あ</sup>⑤ は、1890年の法律によって不完全ながら公共団体としての実体をもつに至るが、やがて廃止される。その廃止法が公布された時の内閣の首班はだれか。

(b) 昭和期において、下線部<sup>あ</sup>にある「統帥」の権限の範囲は、統帥権干犯問題として政治争点となった。そのきっかけとなった国際条約は何か。もっとも適当なものを、次の<sup>あ</sup>⑥～<sup>え</sup>⑧から一つ選び、記号で答えよ。

- <sup>あ</sup>⑥ 日ソ中立条約    <sup>い</sup>⑦ ロンドン海軍軍縮条約    <sup>う</sup>⑧ 日独防共協定  
<sup>え</sup>⑨ ワシントン海軍軍縮条約

(c)  は帝国憲法が制定される以前に  令によって爵位を与えられ、制度的に身分的特権が保障されていた。その制度が制定されたのは何年か。もっとも適当なものを、次の<sup>あ</sup>⑥～<sup>え</sup>⑧から一つ選び、記号で答えよ。

- <sup>あ</sup>⑥ 1875年    <sup>い</sup>⑦ 1880年    <sup>う</sup>⑧ 1884年    <sup>え</sup>⑨ 1888年

(d) [3]の明治民法制定に至る過程で引き起こされたいわゆる民法典論争において、「民法出デ、忠孝亡ブ」として旧民法の施行に反対した法学者はだれか。もっとも適当なものを、次の<sup>あ</sup>⑥～<sup>え</sup>⑧から一つ選び、記号で答えよ。

- <sup>あ</sup>⑥ 穂積八東    <sup>い</sup>⑦ 梅謙次郎    <sup>う</sup>⑧ 上杉慎吉    <sup>え</sup>⑨ 我妻栄

- (e) [4]の史料は、1897年時点の内閣で蔵相をも兼任した際の首相による貨幣法案提出理由についての説明である。その人物はだれか。
- (f) 下線部㉔に関連して、日本において金本位制が確立したのはいつか。もっとも適当なものを、次の㉔～㉚から一つ選び、記号で答えよ。
- ㉔ 1871年      ㉕ 1885年      ㉖ 1897年      ㉗ 1917年
- (g) 下線部㉓の内閣として、もっとも適当なものを、次の㉔～㉚から一つ選び、記号で答えよ。
- ㉔ 第一次若槻礼次郎内閣      ㉕ 広田弘毅内閣      ㉖ 浜口雄幸内閣  
㉗ 犬養毅内閣
- (h) 下線部㉒の内閣が母体とした政党はどれか。もっとも適当なものを、次の㉔～㉚から一つ選び、記号で答えよ。
- ㉔ 革新倶楽部      ㉕ 憲政会      ㉖ 憲政本党      ㉗ 立憲同志会
- (i) 下線部㉑の「一銀行」とはある特殊銀行を指している。銀行名を答えよ。
- (j) 下線部㉑の「一商店」とは何か。商店名を答えよ。
- (k) 下線部㉑の伊東巳代治は、ある御雇外国人顧問の下で、大日本帝国憲法草案の策定事業に取り組んだことでも知られている。その外国人顧問とはだれか。もっとも適当なものを、次の㉔～㉚から一つ選び、記号で答えよ。
- ㉔ ロエスレル      ㉕ グナイスト      ㉖ シュタイン  
㉗ ボアソナード